

# Takatori

# IR REPORT

**NEXT**  
GENERATION  
50<sup>th</sup> 70<sup>th</sup>

第65期 株主通信

2020年10月1日~2021年9月30日



株式会社 **タカトリ**  
The Power of "T"  
Technology Trust Teamwork

証券コード：6338

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「創造と開拓」の社是と「世界に誇れる独自技術を製販一体となって構築し、最良の製品とサービスを提供し、人々の暮らしを豊かにする」の企業理念の下、ユーザーニーズを先取りした新規特徴製品の開発、高精度・高品質を目指した高付加価値製品の開発及び将来成長が期待できる製品の創出を行う「開発先行型企業」を目指しております。

当連結会計年度の実績は、電子機器事業につきましては新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」といいます。）の影響や米中对立の懸念があるものの堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては低調に推移いたしました。

損益面につきましては、電子機器事業の受注・売上が順調に推移したこと、更に、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりました結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年実績を上回る結果となりました。

従いまして、当連結会計年度の株主配当金につきましては、1株当たり15円の期末配当を実施させていただきました。

翌連結会計年度は、当社グループが関わる電子部品業界につきましては、新型コロナや米中貿易戦争の影響が懸念される中、ディスプレイの主要な生産国である中国市場において、現地装置メーカーと競合する機会が増え、受注機会が影響を受ける可能性があります。一方で、車載向けの異形、曲面パネル対応の真空貼合機の受注機会は増加するものと予想されます。

半導体市場につきましては、大容量高速通信規格5Gの普及や、環境対策、省エネルギーのニーズに向けた自動車のEV化に欠かせないパワーデバイス市場の拡大が今後も続き、装置需要は堅調に推移するものと予想されます。

新素材加工機器では、自動車分野において電気自動車や5Gの普及により設備投資が活発化し、パワー半導体市場につきましては堅調に推移するものと予想されます。パワー半導体材料となるSiC（炭化ケイ素）切断・研削加工のラインナップ機を取り揃えている当社グループにおきましては、需要は堅調に推移するものと予想されます。



代表取締役社長  
増田 誠

繊維機器市場につきましては、カーボンニュートラル社会において新素材の開発が進み、非アパレル向け裁断機の需要が予測されます。また、医療機器市場につきましても、引続き医療機器のODM市場の拡大が見込まれます。また、カテーテル製造装置が、生産工程の自動化・省力化へのニーズ拡大により、需要は堅調に推移するものと予想されます。

このような状況の下、お客様の要望に応えるべく「世の中に無いモノを創る」ことを我々の企業価値と捉え、世界を舞台として挑戦し、常に時代に先駆け、お客様の多様化するニーズに、当社独自の技術でソリューションを提供してまいります。

また、翌連結会計年度におきましても、ものづくり企業としての企業価値を高めていくとともに、役員・社員が一体となって経営基本方針である競合、競争戦略、耐性、改革、挑戦を実践し、会社の発展に寄与していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

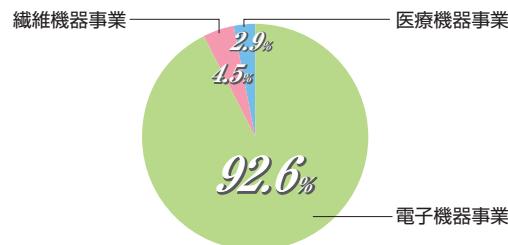
2021年12月

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスの新たな変異株が世界的にまん延する中、米国では、感染力の強い新たな変異株の流行による感染拡大が個人消費や雇用の回復の重石となり景気回復が鈍化しております。欧州では、各国でのワクチン接種率の高さから厳格な活動制限が再導入されておらず、感染が拡大する中でも影響は軽微なものとなっており、堅調に回復しております。中国では、変異株の流行を封じ込めるための活動制限等により経済活動は減速したものの、政策的支援により景気は回復傾向が再び強まる見通しとなっております。

一方、国内経済は、コロナ感染第5波の爆発的な拡大により、景気は停滞感を強めているものの、海外経済の回復を背景とした輸出の増加に加え、設備投資も製造業を中心に持ち直すことでプラス成長が続く見通しとなっております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界につきましては、環境対策、省エネルギーのニーズに向けた自動車のEV化や、ロジック・ファウンドリー（半導体受託製造）の旺盛な投資に加え、5Gスマートフォンの普及、ゲーム機の新製品投入や娯楽需要による大型テレビの販売拡大、そして新型コロナ禍でITを駆使した在宅勤務の増加によるノートパソコンやデータセンター投資にけん引され、市場環境は堅調に推移しております。

## ■ 売上高構成比



## 電子機器事業

### ディスプレイ製造機器

ディスプレイ製造機器では、新型コロナウイルスの影響により遅れていた海外メーカーへの装置導入や改造作業が再開したこと、国内有機ELメーカーから大型パネル対応偏光板貼付け装置の受注を獲得したことなどにより、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



### 半導体製造機器

半導体製造機器では、リモートワークの拡大による通信インフラ用ICチップ及び電子部品の需要の高まりや、脱炭素で省電力化の動きが加速する中、自動車電動化に不可欠なパワーデバイス用チップの需要が拡大するなど、国内市場、海外市場とも、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



### 新素材加工機器

新素材加工機器では、パワー半導体向けSiC材料切断加工装置の大口受注の獲得をはじめ、LED・パワーデバイス関連市場に対する需要の拡大により堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



## 繊維機器事業

繊維機器事業では、アパレル市場において新型コロナウイルスの影響による市場環境の悪化、先行きの不透明感が影響し、設備の更新、増設が先送りされる状況が続いており、低調に推移いたしました。また、炭素繊維裁断機市場の冷え込みは継続し、一般産業素材向け裁断機においても一部受注はしたものの低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。



## 医療機器事業

医療機器事業では「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」の医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行いました。また、国内の医療機器メーカーより医療機器開発を受託し「人工心肺用温度コントロールユニット」小型化した「腹水濾過濃縮用装置」の製造販売承認を取得した他「チューブ用クランプ」等の製造販売に関する届出をいたしました。

新型コロナウイルスの影響による医療機関への不急な営業活動の自粛等により医療機器の販売受注活動が滞る中ではありましたが、OEM/ODMによる引合いの増加により前連結会計年度を上回る受注を獲得いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (2021年9月30日現在)	前期 (2020年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,143,215	5,656,665
固定資産	2,807,401	2,876,471
有形固定資産	1,974,950	2,059,568
無形固定資産	32,643	50,654
投資その他の資産	799,807	766,248
資産合計	10,950,616	8,533,136

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2020年10月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2019年10月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	6,528,778	4,857,598
売上原価	4,968,946	3,901,348
売上総利益	1,559,831	956,250
販売費及び一般管理費	1,169,884	1,028,049
営業利益又は営業損失(△)	389,947	△71,799
営業外収益	122,097	66,990
営業外費用	21,503	14,765
経常利益又は経常損失(△)	490,541	△19,574
特別損失	0	47,390
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	490,541	△66,964
法人税、住民税及び事業税	127,212	2,317
法人税等調整額	△14,396	58,416
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	377,725	△127,697

(単位：千円)

科目	当期 (2021年9月30日現在)	前期 (2020年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,101,834	2,810,776
固定負債	341,119	554,024
負債合計	5,442,953	3,364,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,457,182	5,134,115
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	3,159,027	2,835,906
自己株式	△17,396	△17,342
その他の包括利益累計額	50,479	34,220
純資産合計	5,507,662	5,168,335
負債純資産合計	10,950,616	8,533,136

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2019年10月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2019年10月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106,080	358,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,192	△280,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462,835	440,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	374	△692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	701,810	517,618
現金及び現金同等物の期首残高	2,369,523	1,851,904
現金及び現金同等物の期末残高	3,071,334	2,369,523

### 売上高

(単位：百万円)



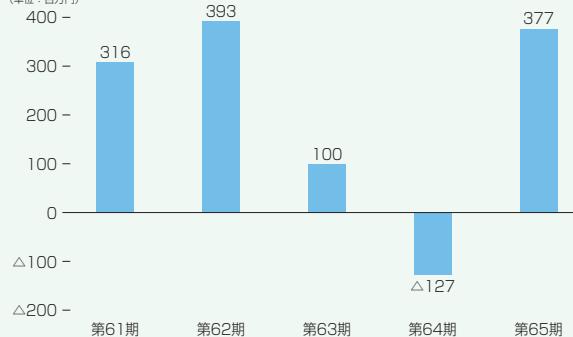
### 経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



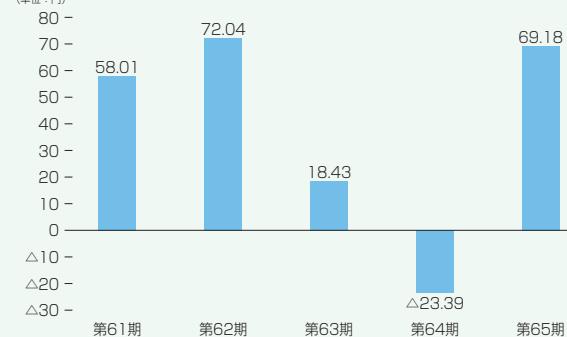
### 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

(単位：百万円)



### 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)



### 総資産／純資産

(単位：百万円)



### 研究開発費

(単位：百万円)



新たな技術・商品を開発いたしました

# TAKATORI 生産効率革命

新開発

## SiC専用ワイヤーソー MWS-SiC6・MWS-SiC8



企業価値向上のために

- 6インチ、8インチSiC切断に最適なスペック
- 高精度切断を実現する高剛性構造
- 安定稼働を実現する制御システム
- 消耗品の消費低減機構
- 稼働状況の監視・管理機能

新開発

## ダイヤモンドスラリー専用オイル (ORIGINAL)



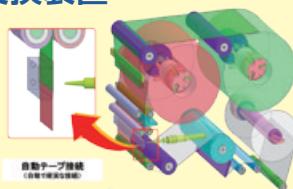
タカトリはSiCに代表される硬脆性やさまざまな素材の精密切断加工機「ワイヤーソー」の専門メーカーとして切断加工技術の高度化をはかり、より高精度に効率よく切断するための技術開発・研究を続けてきました。  
その中から、ダイヤ粒子を全て有効利用できる、タカトリオリジナルオイルの開発に成功しました。

新開発

## テープ自動交換装置

大幅な作業効率UP

装置内5本投入で37.5時間、テープ交換なしでの連続稼働が可能。



テープ5本仕様(5本連続投入)



更に

ご使用状況により連続稼働時間は変わります

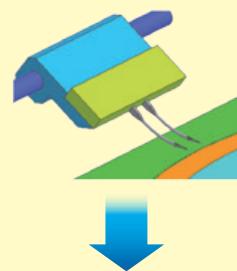
テープを連続投入できる省人化技術

新開発

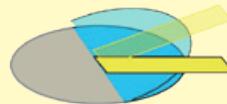
## テープレス剥離装置

テープレス方式

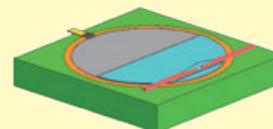
特殊形状針を採用した方式により、ウェーハにダメージを与えることなく剥離が可能。  
剥離テープは一切不要となり、大幅なコスト削減が可能。



従来方式(剥離テープ)



テープレス方式(チャッキング)



剥がしテープ(副材料)を一切使わない環境型技術

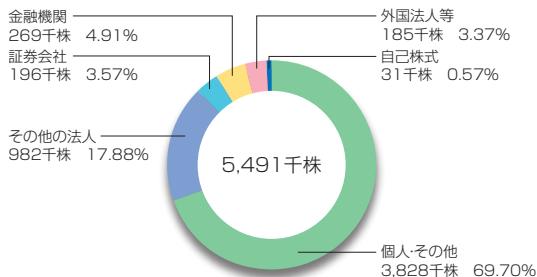
## 株式の状況 (2021年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	4,387名
■ 大株主	

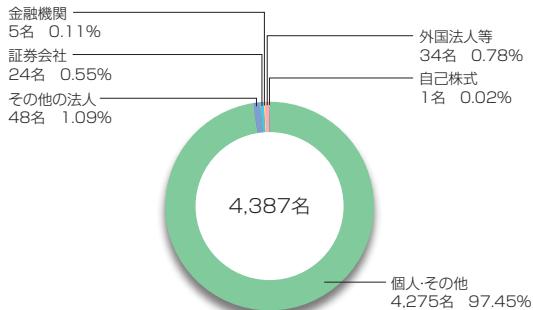
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有) コトブキ産業	347	6.37
タカトリ共栄会	344	6.31
西村幸子	189	3.47
大阪中小企業投資育成(株)	187	3.43
岡島恵子	167	3.07
仙波周子	163	2.99
高鳥政廣	153	2.81
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN	106	1.94
(株) 南都銀行	95	1.74
日本生命保険(株)	94	1.73

(注) 持株比率は自己株式(31,164株)を控除して計算しております。

## ■ 所有者別株式数分布状況



## ■ 所有者別株主数分布状況



## 会社概要 (2021年9月30日現在)

■ 商号	株式会社タカトリ
■ 本社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 営業所	徳島営業所 徳島県徳島市佐古三番町7-9
■ 子会社	高鳥(常熟)精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧溪街道万盛路9号4幢101室
■ 設立	1956年10月
■ 資本金	963,230千円
■ 代表者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴
■ 従業員数	200名(グループ従業員数 203名)
■ 事業内容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の製造及び販売

## 役員 (2021年12月24日現在)

■ 代表取締役社長	増田 誠
■ 代表取締役副社長	松田 武晴
■ 専務取締役	岡島 史幸
■ 取締役	森田 昌宏
■ 取締役	森嶋 一喜
■ 取締役	谷川 隆樹
■ 取締役(社外)	川村 真
■ 常勤監査役	大島 章良
■ 監査役(社外)	山田 磯子
■ 監査役(社外)	岸部 輝一

## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	①定時株主総会 9月30日 ②剰余金の配当(期末) 9月30日 ③ // (中間) 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
証券コード	6338
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ ( <a href="http://www.takatori-g.co.jp">http://www.takatori-g.co.jp</a> ) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



### Facebookのご案内



**株式会社タカトリ**  
The Power of "T"  
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1